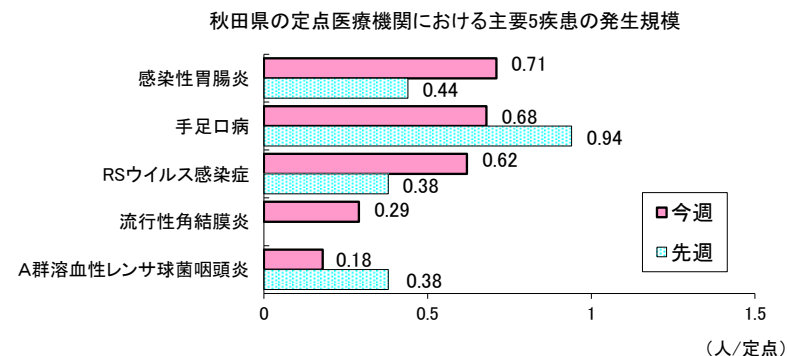




【第39週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、大仙、横手で増加、湯沢で減少しています。
2. 手足口病は、県全体で28%減少しています。保健所別では、北秋田、湯沢で増加、由利本荘、横手で同規模、秋田市、大館、能代、大仙で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で1.6倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、秋田市、北秋田で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減			
RSウイルス感染症	0.38	0.62	↗	0.14		↘		0.50	↗	0.50		↘				0.25	↗				2.00	3.00	↗	0.67	1.00	↗	0.33	1.00	↗	
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱																														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	0.18	↘				1.50	0.75	↘	0.50		↘			0.50	0.50					0.50	0.25	↘	0.67		↘				
感染性胃腸炎	0.44	0.71	↗	1.29	1.71	↗							0.33	0.67	↗	0.75	1.00	↗				0.25	↗		1.33	↗	0.67	0.33	↘	
水痘	0.03	0.06	↗	0.14	0.14																	0.25	↗							
手足口病	0.94	0.68	↘	0.71	0.57	↘	1.00	0.50	↘		1.50	↗	3.67	1.33	↘				0.25	0.25		2.25	1.50	↘	0.33	0.33		0.33	0.67	↗
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.06	0.18	↗		0.14	↗	0.25	0.25							0.25	↗	0.25	0.25			0.25	↗					0.33	↗		
ヘルパンギーナ	0.03	0.03		0.14		↘		0.25	↗																					
流行性耳下腺炎																														
川崎病		0.03	↗																					0.33	↗					
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎		0.29	↗		0.67	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-38週		39週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10553	52	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	14		
	腸管出血性大腸菌感染症	2481	30	1
	腸チフス	11		
パラチフス	7			
四類	E型肝炎	320		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	57		
	エキノコックス症	17		
	黄熱			
	オウム病	9		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	13		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘	4		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	98		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	98	7	
デング熱	52			
東部ウマ脳炎				
鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
ニパウイルス感染症				

類型	疾患名	1週-38週		39週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	278		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	18		
	野兔病			
	ライム病	11		
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1544	17	1	
レプトスピラ症	20			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アムールバ赤痢	385	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	151		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1287	10	2
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	19		
	急性脳炎	272	1	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	125		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	537	1	
	後天性免疫不全症候群	625		
	ジアルジア症	27		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	126	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	5		
	侵襲性肺炎球菌感染症	870	6	
	水痘(入院例に限る)	227	6	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	8970	24	1
	播種性クリプトコックス症	105		
	破傷風	72		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	108			
百日咳	356	5		
風しん	10			
麻しん	5			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11			
* 新型コロナウイルス感染症	96153	2560		

* 新型コロナウイルス感染症

<全数把握対象疾患>

- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症*1が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が能代保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症*2が秋田市保健所管内から747人、秋田県管轄8保健所管内から1813人、報告されました。

*1「レジオネラ症」について

秋田県内では、第39週までにレジオネラ症の患者報告が18人ありました。そのうちの半数以上は、8月以降に報告されています。レジオネラ属菌は、もともと土壌や自然環境の水に存在する細菌で、菌に汚染された土ほこりやエアロゾル(細かい水滴)等を吸い込むことで感染します。次のことに留意して、感染予防に努めましょう。

■症状

レジオネラ症は「レジオネラ肺炎」と「ポンティアック熱」の二つに分けられます。レジオネラ肺炎は、免疫力の低下した人が発症しやすく、特に高齢者や悪性疾患等により免疫力の低下した人、免疫がまだ不十分な新生児等では、重症化する危険性が高いため注意が必要です。ポンティアック熱は、発熱、悪寒、筋肉痛といった症状がでますが、通常は一過性で治癒します。

■予防対策

- ・農作業や散水作業、水災害発生後の復旧作業等の際は、土ほこりやエアロゾルの吸入を防ぐためマスクを着用しましょう。
- ・入浴に関連した事例もあるため、ご家庭で循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂など)を備え付けている場合は、レジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすため、浴槽内に汚れやぬめりが生じないように定期的に洗浄等を行いましょう。また、「公衆浴場」や「旅館」などの施設では、集団感染が発生する可能性もあるため、衛生管理を徹底しましょう。
- ・加湿器等を使用の際は、タンクをこまめに清掃し、水の継ぎ足しはせずに新しい水に入れ替えるようにしましょう。また、使用しない時は水を抜いて乾燥させましょう。

*2「新型コロナウイルス感染症」の全数届出の見直しについて

2022年9月26日から感染者数の公表内容が変更となりました。これに伴い、今週以降、「秋田市保健所」「秋田県管轄8保健所」別の人数に記載を変更します。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症1件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
RSウイルス感染症	横手市	沼館保育園	9/27	89名のうち15名	21名のうち0名	15名	9/13～9/27	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		